☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１９

神戸新聞　令和元年１１月４日（月）

秋の宿場町 風情楽しむ

青垣で催し 氷上西高生も商品販売

丹波市

宿場町の面影が残る丹波市青垣町佐治地区で3日、食や音楽を楽しむイベント「丹波八宿（はっしゅく）　青垣の秋」が開かれた。ぜんざいやマツタケご飯など、旬の味を扱う屋台が並んだほか、チェーンソーで丸太を削ってモニュメントを作るパフォーマンスも披露された。

地元商店主や市商工会青垣支部でつくる実行委員会の主催。佐治地区の魅力を知ってもらおうと、２００５年に始めた。

屋台の店主らは、紺色のかすりで作ったそろいの法被に身を包み、かすりのミニのれんを下げて、客を出迎えた。一部の古民家や町家は見学用に開放され、丹波地域の古地図など、骨董（こっとう）品が展示された。

氷上西高校と関西大学佐治スタジオの共同屋台では、地域の名物だった「土田うどん」を復刻。同高校3年生が授業「地域ビジネス」で開発した鹿肉のハンバーガーや、はやりのタピオカを使ったプリンなども販売し、一部の商品は約30分で完売した。

同高校3年生の山根都美（かずみ）さん(18)は、「青垣以外からもたくさん人が来てくれて、街がにぎやかで楽しい。完売できてよかった」と話した。（真鍋　愛）

自主開発した商品などを販売する氷上西高校の生徒たち＝丹波市青垣町佐治